



「では村長。村を脅かす魔物の討伐に行って参ります！」

「ああ、くれぐれも気を付けてな。
…頼んだよ、レティシア」

「はい、おまかせを！
魔物に負けたりなど絶対しません！」



「嫌あああああ！
やめてえええええええええ！」

「ギギッ、俺たちの巢に
単身乗り込んでくるとは
馬鹿なエルフだ！」

「グゲゲッ。体は上物だから
たっぷり可愛がつてやるよ！」

「下等な魔物にこんなことされるなんてえ……！
あ、ああつ！ 駄目えええええ！」



「うっ…出るぞ！
その綺麗な肌汚してやる！」

「ふあああああああ！
ドロドロで臭くて気持ち悪い…！」

ドロドロ

「さすが、高等種族は
アソコも良い具合だぜ！ グゲゲ！」

「んっんっんぐううう……！」

ズ
ッ
ス
ッ

「どうだ？」

「俺たちゴブリンのチンポの味は？」



「よし、そろそろ出すぞ！
どろっどろの精液
たっぷり注いでやるぜ！」

「...」

「一滴も零さず飲めよ！」



「こいつはきつくてイイ感じだ！
ゴブリンどもにはもったいない女だぜ」

「あっああ！ やめてえええ……！」

「どうだ！？
オーク様のチンポは気持ちイイかあ！？」

「あっあああああああああ！
駄目ええええええええええええ！
壊れちゃううううううううううう！」

ズ
ッ
ス
ッ



「おらっ、中に出すぞ！」

「あああああああ！
熱いのがいっぱい出てるううううう……！
に、妊娠しちゃうよおおおおお！」



「エルフのマンコってのは
こんなにいやらしいのか！
チンポに絡みついて気持ち良いぜ！」

「あっあああ…！ 嫌あああああ！
な、何をするんですか!?!」

「魔物から救ってやったんだ、
これくらい礼はしてもらわないとな」

ズ
マ
ッ

ズ
マ
ッ



「そろそろ出そうだ！
おらっ、人間様の精液たっぷり味わいな！」

「あっあっあああああ！
お腹の奥に熱いの
たくさん出てるううううう！」

ド
ピュ

「おい、俺にもやらせろよ！
エルフとやれる機会なんて
そうそう無いからな！」



「ぐふふ、久しぶりに
良いエルフが買えたわい。
たっぷり可愛がってやるぞ」

「ううっ、なんでこんなことに…
あっああ！」

「ほれ、どうじゃ！
ここが いい の か！？」

「あつ、駄目えええええ！
そんなに激しく突いたらっ…
あっあっああん！」



「うっ、もうイキそうだ…!!
濃い精液たっぷり出してやる!」

ド
ビ
ュッ

「あっあああああ!」
嫌あああああああ!
いっぱい出てるよおおおおお!」

「ふう、気持ち良かったわい。
…お前はわしが一生面倒みてやるぞ。
ぐふふっ。」























